



長野地本「緊急代表者会議」開催しました！

10月4日(火)長野市「南千歳公民館」において長野地本「緊急代表者会議」を開催しました。当日は各支部、分会の代表者が集まり、2022年度の年末手当の取り組みについて議論しました。



臼井委員長からは、年末手当の意思統一をしていく。

東日本労働組合は、

- ① 基準内賃金の3,7カ月を要求
- ② 全社員一律の月数要求
- ③ 12月9日までに支給すること

以上の要求を10月14日の本部中央執行委員会で確認すること、その後会社に要求していく事が話されました。

昨年は夏季手当と年末手当の支給の合計が4ヶ月分でした。2019年のコロナ禍前までは夏季手当、年末手当の合計が6,09ヶ月出ていて、6ヶ月分は平均して支給されていました。

<過去5年間の夏季手当実績(単位:月数)>

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
2.91	2.91	2.415	2.0	2.3

<過去5年間の年末末手当実績(単位:月数)>

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
3.18	3.18	2.2	2.0	?

合計(単位:月数)

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
6.09	6.09	4.615	4.0	?

3.7ヶ月要求！

年間6ヶ月分を目指す！

年末手当の要求額など、皆さんの意見を聞かせてください！